

自然保護憲章

(昭和49年6月5日国民会議)

自然をととび、自然を愛し、自然に親しもう。
 自然に学び、自然の調和をそこなわないようにし、美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

山形県立自然博物館自然観察イラストマップ
 発行 山形県環境エネルギー部みどり自然課
 お問い合わせ 山形県立自然博物館 (ネイチャーセンター)
 TEL 0237-75-2010

記号説明

〔広場・展望台〕

〔A〕	入口広場
〔B〕	ミズバショウ広場
〔C〕	玄海広場 玄海広場のおこり
〔D〕	展望台姥ヶ丘・湯殿山方面 ブナ林をマクロにみよう
〔E〕	ミズナラ広場 博物館の植物
〔F〕	展望台(石跳川方面) 露頭を観察しよう
〔G〕	元玄海広場 元玄海で発見された石碑
〔H〕	ブナ林広場
〔I〕	カワクミ広場 修験の道をたどって

〔体験ゾーン〕

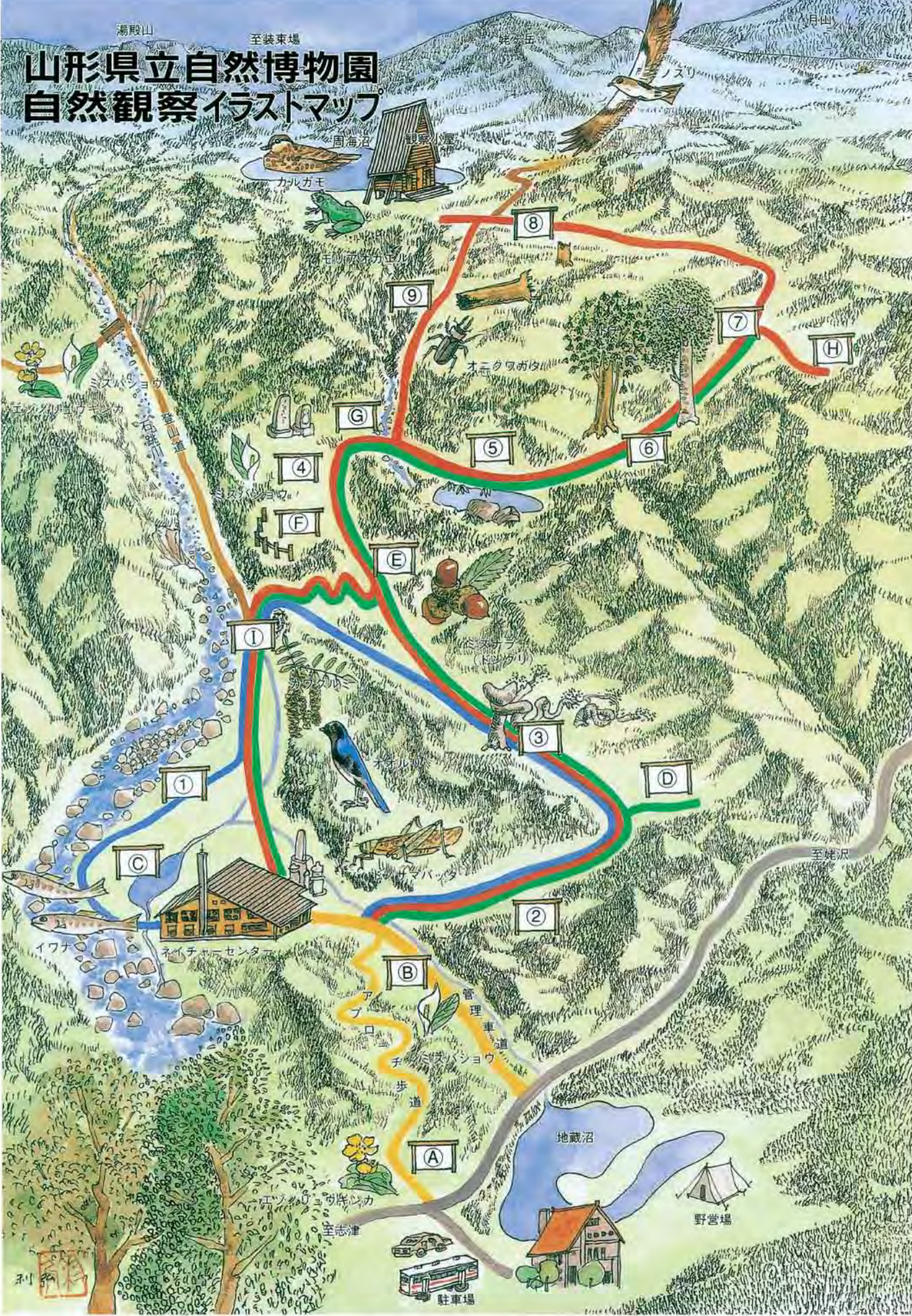
①	川原の生物 川の生きものたち
②	人工林と自然林 炭焼きによりできたブナの二次林
③	雪と植物(のたうちまわるブナ) わい生ブナを体験しよう
④	湿地の植物 どんな花がさいていますか?
⑤	月山の湧水(ゆうすい) 水温を体験しよう
⑥	ブナ林の中の大木 木の高さや太さをはかってみよう
⑦	ブナ林の野生動物 フィールドサインをさがそう
⑧	林海の空隙(ギャップ) ブナ林の自然更新
⑨	倒木と生き物 倒木のゆくえ

※下段 解説板内容

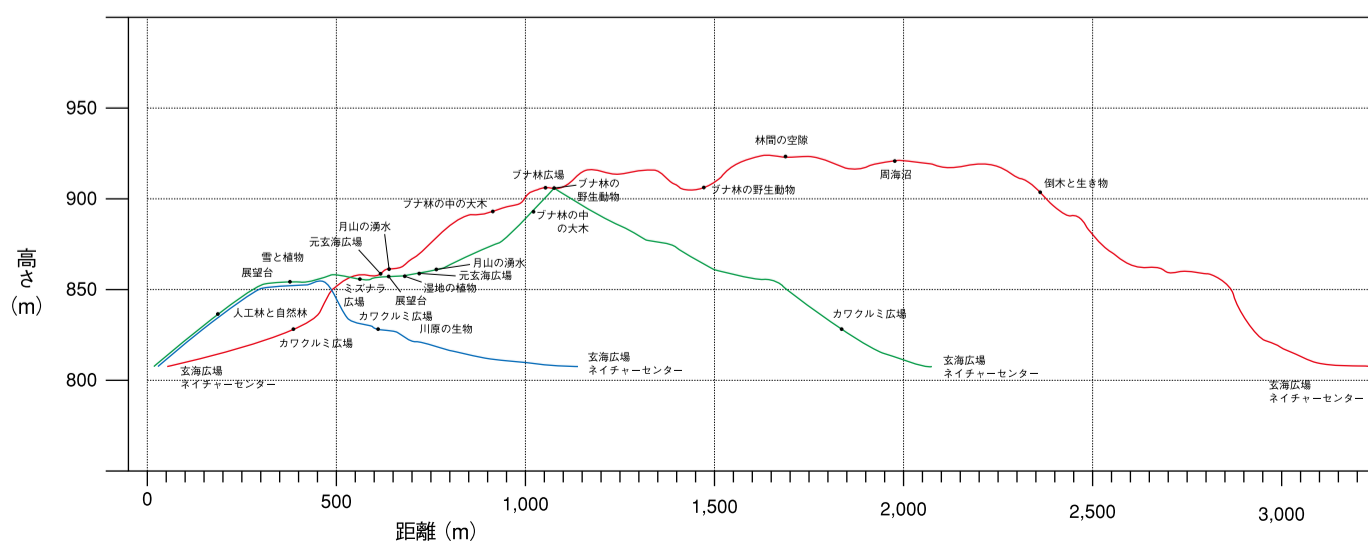
モデルコース凡例

No.1 (120分)	No.2 (90分)	No.3 (60分)

山形県立自然博物館 自然観察イラストマップ



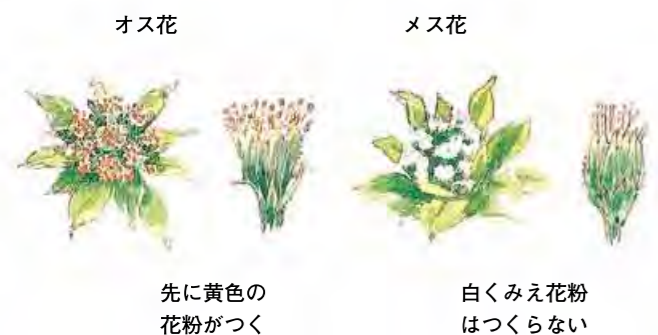
自然観察路行程図



① フキノトウをしらべてみよう。

○わかりますか。フキノトウのオスとメス。

フキノトウには、オスとメスのくべつがあります。花が咲いたら虫メガネで花の頭をくわしくみてみよう。



○ フキノトウの茎で水車を作ってみよう。



③ ブナ林のすばらしさにふれてみよう。

ブナ林は、驚くほどの水を蓄え、緑のダムといわれ、水害や早魃まで防いでくれるといわれております。落ち葉は厚く積もり、生きもの（微生物）を育て豊かな土となります。



豊かなブナ林は、けもの、野鳥、昆虫、魚など多くの生命を宿してくれております。人間の暮らしにも、山菜や、いろいろな道具の用材として自然の恵みをもたらすとともに、生活や文化にも深くかかわりをもち心の支えとなってきました。近年森林浴の場としても注目を浴びてきております。

② バードウォッチングのポイント。

小鳥を観察する時のポイントは「聞きわける」「見つける」「見分ける」「見きわめる」の四つです。

- (1) 鳥のなき声を聞く。
なき声のする方向をさがし、静かに近よる。
- (2) 鳥を見つける。
木の葉のかげや、やぶにかくれているかも知れません。
注意して発見につとめる。
- (3) 何の種類か見分ける。

○鳥の大きさは、よく知られている鳥の大きさ（ものさし鳥）を目やすにして見分ける。



- 目立つ模様（フィールドマーク）をたしかめる。
- 見つけた時の季節によって何の種類か目やすをつける。
- (4) 鳥の行動や習性（しゅうかん）をしっかりと観察して鳥の名前をしらべる。



④ クワガタをさがしてみよう。

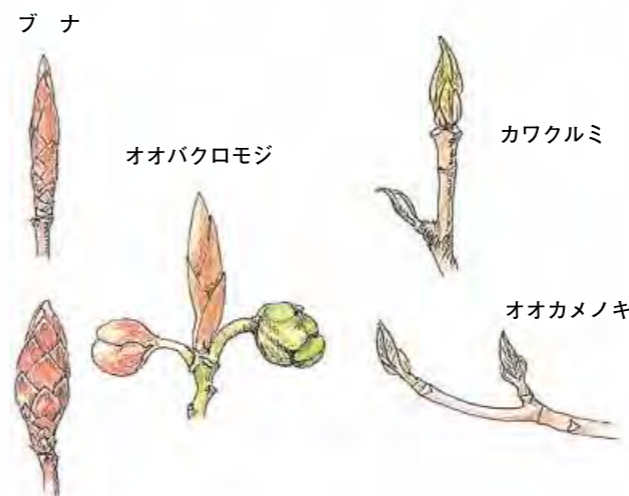
博物館内では、スジクワガタ、オニクワガタ、アカアシクワガタ、ミヤマクワガタ、ヒメオオクワガタ、ヒラタクワガタ、コクワガタなど7種類ものクワガタが発見されています。みなさんも発見し、しらべてみよう。



⑦ 植物の冬じたくの様子を知ろう。

樹木は、秋までのうちに冬をすごすために冬の芽（冬芽）をつくって深い雪や寒さを防いで春を待ちます。冬の芽は魚のうろこのような厚い皮で包まれた芽（鱗芽）と、はだかの芽（裸芽）の二つに分けることができます。

- (1) うろこのような芽（鱗芽）
- (2) はだかの芽（裸芽）



- ◎樹木を冬の芽の形で分けてみよう。
- ◎冬の芽の形をスケッチしてみよう。

⑤ 実りの秋を探そう。

秋になると、博物館内では、ブナ、ミズナラ、トチノキ、タムシバ、ホオノキなどの木の実がよく見られます。葉の形や、大きさにも注意しながら探してみよう。木の葉や木の実の写生もしてみよう。



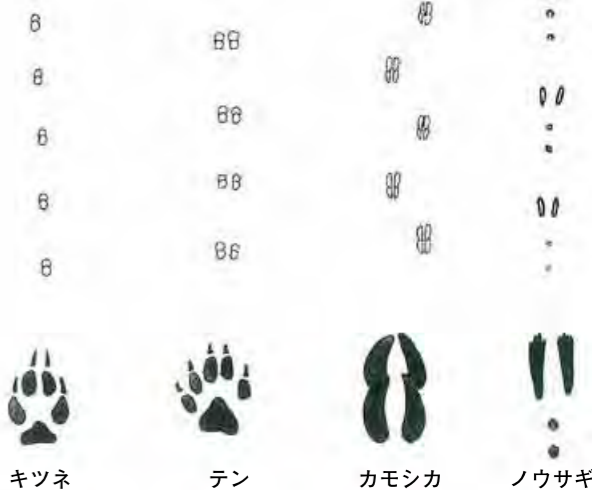
人間のこぶしに似た形の果実をつけ、その中に赤い種子がある。

種子

⑧ わかりますか。誰のものかしらべてみよう。

山でけものにあうのはなかなかむずかしいものです。ちょっと気をつけてみると、けもの生活のしるしにあちこちでであうことがあります。足あとやふんでしらべてみよう。

- (1) あしあと

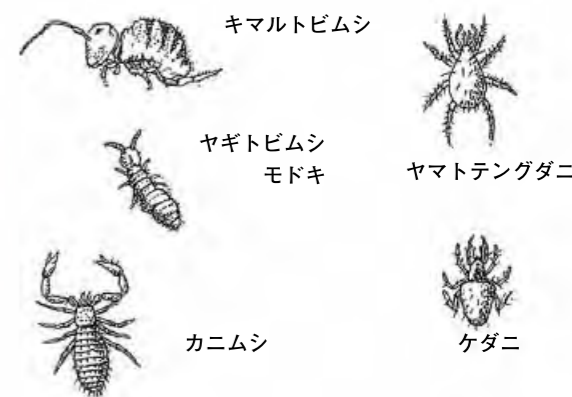


- (2) ふん



⑥ 落ち葉のそうじやを探してみよう。

落ち葉は、たくさんの小さな昆虫類（微生物）やキノコの仲間（菌類）などに食べられたり、小さく分けられたり（分解）して、栄養豊かな腐葉土にかわります。落ち葉をめくってみるときっとこれらのはたらきをしている小さな虫が発見できます。どんな虫がでてくるか探してみよう。



◎自然観察マナー

— 自然はみんなのもので。大切にしましょう。 —

- もってかえろう、思い出とゴミ
- 動・植物はとらない。とるのは写真だけ
- 火の用心、園内でのたき火は火事のもと